

第1学年1組 道徳科 学習構想案

日 時 令和7年2月21日（金）第5校時  
 場 所 甲佐中学校 1年1組教室  
 指導者 教諭 小幡 侑貴

1 単元構想

主題名	全国からのエール（内容項目D（22）よりよく生きる喜び）	
ねらいと教材	(1) ねらい 熊本地震の際に、避難所で主人公がボランティアなどに励まされた時の思いを考えることで、今までの自分の考えや行動を振り返り、人としてよりよく生きていこうとする態度を育てる。 (2) 教材名 全国からのエール 出典「つなぐ～熊本の明日へ～（熊本県教育委員会）」	
評価の視点	評価の視点1	評価の視点2
	熊本地震の際に、避難所で主人公がボランティアなどに励まされた時の思いを考えることを通して、今までの自分の考えや行動を振り返り、目指す生き方について考えている。	目指す生き方について目を向け、自分の経験と重ね合わせながら、発言したり書いたりしている。
単元終了時の生徒の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）		
よりよく生きる喜びについて理解を深め、自分を含め、だれに対しても人間としてのよさを見出そうとする生徒。		
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）		本単元で働かせる見方・考え方
「次は私たちの番だ。」という私の決意を考える。		目指す生き方について目を向け、自分の考えや行動を振り返り、今後の自己の生き方について考えを深めていくこと。

2 単元における生徒の実態

学習指導要領における該当箇所（内容、指導事項等）		
本主題は、中学校内容項目D（22）「人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと」を基にしたものである。 入学して間もない時期には、人間が内に弱さや醜さをもつと同時に、強さや気高さを併せてもつことを理解することができるようになってくる。しかし、なかなか自分に自信がもてずに、劣等感にさいなまれたり、人を妬み、恨み、うらやましく思ったりすることもある。 指導に当たっては、まず、自分だけが弱いのではないということに気付かせることが大切である。弱さや醜さだけを強調したり、弱い自分と気高さの対比に終わったりすることなく、自分を奮い立たせることで目指す生き方や誇りある生き方に近付けるということに目を向けられるようにする必要がある。		
研究テーマにせまる生徒の学びの実態		
①本単元の学習に関する意識の状況〔非認知能力アンケート結果より〕 (／5.00)		
調査項目	7月	10月
自己調整学習スキル（学習内容や方法を選択し課題解決する力）	3.97	3.95
粘り強さ（あきらめずに粘り強く取り組む態度）	3.76	3.80
内発的意欲（主体的に取り組む態度）	4.01	4.00
②考察 3項目ともに平均的に高い傾向にある。10月の「粘り強さ」の数値が向上し、「自己調整学習スキル」と「内発的意欲」はやや低下している。この実態を踏まえ、生徒自身に近い学習課題となり、生活に生かすことができる「楽しい授業」となるよう目指したい。		

3 指導に当たっての留意点（校内研修の重点事項）

① 楽しい授業づくりの工夫

導入では、事前に取ったアンケートを活用し、生徒が主題に関わる問題意識をもてるようにする。

② 終末の工夫

振り返りの視点を示すことで自己を見つめやすくし、また、ロイロノートを活用することで振り返りの共有を行う。

#### 4 本時の学習（1／1）

##### （1）目標

熊本地震の際に、避難所で主人公がボランティアなどに励まされた時の思いを考えることで、これまでの自分の考えや行動を振り返り、人としてよりよく生きていこうとする態度を育てる。

##### （2）展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	5分	<p>1 事前アンケートの結果を共有し、本時の見通しを持つ。【チェックタイム】</p> <p>2 めあて・学習課題の確認をする。</p> <p>【めあて】人としてよりよく生きるために大切なことは何だろう。</p>	<p>○事前アンケートの結果（「なりたい自分になるために取り組んでいること」）を提示することで、本時の内容を自分事としてとらえることができるようにする。</p>
展開	35分	<p>3 教材を読み、道徳的価値について考える。【シンキングタイム】</p> <p>【学習課題】「次は私たちの番だ。」という言葉にはどのような思いが込められているだろう。</p> <p>4 ペアで話し合う。【アクションタイム】</p> <p>【期待される学びの姿】 友だちの考えを聞くことによって、自分の考えを広げたり、深めたりする姿。</p> <p>5 人としてよりよく生きるために大切なことについて考える。</p> <p>◇ できない自分に気づいて、「やってみよう」と思う心が大切。</p> <p>◇ 自分はダメだと思っても「人のために」と思えるよさがあることに気づくことが大切。</p>	<p>○あらすじを確認する中で、東日本大震災のときに何もできなかった「私」が、「次は私たちの番だ」となりたい自分に近づくために行動をしていることに気づかせる。</p> <p>○「私」にも避難所で「協力したい」と思えるよさがあることに気づかせたい。</p> <p>○できるだけさまざまな意見を取り上げることで、生徒の考えを深めることができるようにする。</p> <p>【到達していない生徒への手立て】 意見交流や板書を見ながら、自分の考えに近いものを選び、意見をもつよう助言する。</p>
終末	10分	<p>6 本時の振り返りをする。【チャレンジタイム】</p> <p>○ 今日の学習を通して、考えたことを書きましょう。</p> <p>【まとめ】今までは自分の弱さは好きではなかったけど、今日の授業で自分が変わりたいと思い行動すると、少しずつ近づくことができるかもしれないと思った。だからこれからは、挑戦することで少しずつ自信をもっていきたい。</p>	<p>○ロイロノートに振り返りシートを送り、「①今までは②今日学んで③これからは」の視点を示し、自己を振り返らせる。</p>

【評価の視点1】熊本地震の際に、避難所で主人公がボランティアなどに励まされた時の思いを考えることを通して、これまでの自分の考えや行動を振り返り、目指す生き方について考えている。

【評価の視点2】目指す生き方について目を向け、自分の経験と重ね合わせながら、発言したり書いたりしている。